

あいあいあい

2011年産新米放射能検査 不検出!

大郷みどり会、迫ナチュラルファーム自然村 玄米・白米ともに

放射性セシウム・ヨウ素は、両産地の玄米・白米ともに全品目で『検出せず』でした。

検体数: 大郷みどり会5箇所(6検体)、迫NF自然村2箇所(3検体)
検査日: 9月28日 検査機関: 日本冷凍食品検査協会 検出限界値: 10Bq/kg
(8~9月に行なった両産地の「稲体検査」でも、すべて『検出せず』でした。)

10月2回は大郷みどり会の新米、10月3回は迫ナチュラルファーム自然村の新米と、企画が続きますが、どうぞ安心してご利用ください。

あいコープは生産者とともに検査を徹底し、今後も検査結果をお知らせしていきます。

※詳細はホームページで、あいコープで検索してね!

Wa!わ祭り

2011 10・30 sun

10:00~15:00

仙台卸商センターサンフェスタ

〒984-8651 仙台市青葉区野田2丁目15-2
TEL: 022-236-1100 FAX: 022-236-1109

生活協同組合
2011年10月9日 COOP あいコープみやぎ

〈発行〉生活協同組合あいコープみやぎ理事長会
〒983-0035 仙台市青葉区野田の出3丁目4番17号
TEL: 022-284-7241 FAX: 022-284-6973
http://www.mamiya.coop

Wa!わ祭りまで あともう少しです。今回は会場団をご紹介します!!

今年の見どころは なんといても生産者同士の「コラボレーション」です。今年のテーマである「あいコープ 出会えて繋がりに大きな輪に!」 ~ みんなの力で 一歩ずつ ~ にぴったりの企画ばかりです。

オープニングには 名取市のゆりあげ太鼓をお呼びし、会場を盛り上げますのでお楽しみに...!!
くわしくはWa!わ祭りチラシをご覧ください。

(Wa!わ祭り実行委員長 環・高崎 かおり)

限定! カワグチ企画さんのご協力企画の予約グッズはここで!!

☆まち絵の具で和紙とく絵付け体験
10:30~11:30 (100円/15名まで)

☆和紙千支張子(原)つくり
11:30~12:30 (500円/15名まで)

☆みっろうハンドクリーム作り
13:30~14:30 (300円/15名まで)

※お祭りが始まったら、グッズにきて予約の紙に名前を書いて下さい



あつたかーい汁物・ごはん・焼肉 行列のそびえ?! プース!!

今年も 焼きます 仙台産物さん

産品もりだくめん のブースだよ

オープニング ゆりあげ太鼓 開会宣言 理事長あいづ 実生成長あいづ ゆりあげ太鼓演奏

Wa!わ祭り バンジョンだよ

① 環境に優しい 企画が11かい 石けん屋さん 会えますよー

② 原発のト。 震災のトを 集めてみました!

③ 脱原発運動 といえば...!! がんばりな。 軽食・お茶 ジーは こちらだよ。

毎年 大人の 太陽油脂さん エスプレッソのトネコお破 は こちら!

わかめの会え ちゃまは 福袋もここに!

飲食ブース!

④ まま 通信で おなじみの 商品 ラインアップ

⑥ お魚 お肉は こちらに おまかせ!

⑦ 人気の 加工品や 調味料!

⑤ おとうぎの 試食が いっぱい

大人気! 平田産業は ここで~す!

あいコープみやぎ

10月7日現在

11/21(月) 仙台真弘講演会 (宮城大准教授) 会場: 仙台市青葉区野田 (アエル仙台ビル2F) 時間: 10:00~12:00

11/24(木) 秋のふん 仙台市青葉区 会場: 仙台市青葉区野田

たいせつなこと

杜の都の市民環境教育・学習推進会議 (FEEL Sendai) の環境社会実験・実践活動の仙台の委託事業先に、石けん環境委員会が選ばれました。今年の特別テーマは「震災と環境」です。震災後に取り組んだ石けん活動を発表したところ、「広く仙台市民に石けんを使ってほしい」という理由で、選ばれました。これをうけ、委員会では下記の企画を考え、市民に石けんの良さをアピールします。

11月15日(火) 10:00~12:00 会場: エルパ7仙台大研修室 太陽油脂株式会社 長谷川 治さん 講演会 「見直そう! ライフスタイル」

11月24日(木) 10:00~12:00 会場: エルパ7仙台会のアリエ 高崎 かおりさん 講師 「石けん製品でアリエアリエ」

12月1日(木) 10:00~12:00 会場: エルパ7仙台会のアリエ 高崎 かおりさん 講師 「見直そう! ライフスタイル ~石けんを海川・街で美しく~」



新米であいごはん!



～秋のぶんぶんフォーラムが開催されます～

食欲の秋、あいごはんがより美味しい季節がやってきました。11月14日(月)～12月2日(金)の期間に各地区にて、「新米であいごはん!」秋のぶんぶんフォーラムが開催されます。今後の全体チラシや地区ニュースは見逃せません。楽しく笑って、食べて、免疫力 UP の料理教室が展開されますので、お友達お誘いの上奮ってご参加ください。新米はもちろん、旬の食材を使った和食(郷土料理)をテーマにしています。今、見直されている「日本型食生活」にスポットをあてて、発酵食品を上手に取り入れながら、美味しく新米を頂きましょう。

今回のフォーラムではあいづらんどのお米がメインとなりますが、あいコープの新米の特徴を詳しく紹介致します。ネオニコチノイド系の農薬を使用しないお米になります。この神経毒の農薬によって、みつばちがいなくなるなど生態系が脅かされていると言われています。稲刈りの時期にイナゴが見つからないのは、おかしいと思いませんか? あいコープのお米は、この農薬を使用しないで栽培されています。ネオニコチノイド系農薬を使わない田んぼには、カメムシ被害の痕が残った斑点米が見られます。一緒に斑点米を試食してみませんか。斑点米が出来る安心感を実感する機会にもなるはずです。

また、皆さんが一番心配な放射能汚染。あいコープみやぎは生産者の「水田の土壤検査」「稲体検査」を行った上で、最終的には商品になる「玄米」や「白米」の残留放射能検査を行い、「検出せず」と確認されているので安心です。私たちは地産地消を進めることが東北の復興に繋がると考えます。顔の見える生産者を支えるためにもお米やお野菜を沢山食べて利用拡大していきたいと思えます。秋のフォーラムでは、多くの参加された方々の納得、充実した時間が過ごせることと思えます。

あいづらんど運動推進委員会担当理事 高橋 千佳

六ヶ所東日本サミット緊急企画

◆講演会 原発のない社会へ! 踏み出そう東北～福島、六ヶ所を語る◆

10月2日、広河隆一氏と永田文夫氏講演会に参加しました。広河さんは、1988年 DAYS JAPAN を創刊し大手メディアでは絶対に伝えない核の実態をテーマに、六ヶ所などを取り上げていました。講演会では、ウインズケール、スリーマイル、チェルノブイリ、六ヶ所と現場を訪ねた経験と福島原発事故について話されました。チェルノブイリ事故では、30km圏内の子どもと女性を優先して避難をさせ、120km離れたキエフでも早めの夏休みにして、十分に離れた保養地へ学校ごと避難させたそうです。しかし、日本では、そのような措置は取られませんでした。私たちは、生きる権利を守るために国に必要な措置を求めると共に、自分達で子どもたちを守る行動をしなければなりません。

「自分たちで放射線測定し、基準値以下か以上かではなく、数値(ベクレル)自体を公表することが大切です。」との話は、あいコープで行っている放射能自主測定そのものです。ますますあいコープで暮らそうと思えました。今、私たちは何をすべきなのか。みなさん一緒に活動しましょう。理事 鈴木智子

生産者つうしん!!

大震災後、あいコープみやぎの生産者のみなさんは、どんな被害があり、どんなご苦労があったのでしょうか? 組合員のみなさんは、生産者のみなさんのこれからの復興復旧に向けて皆の力を合わせて買い支えていきましょう。

父の後ろ姿を見ながら 休業中です。

柴田町 (株)青木商店

私は、山梨県忍野村の豆腐工場で半年間の研修を終え、実家に戻って間もなくして震災に遭いました。震災直後は、数日間被災地はどこも、連絡や立ち入ることもままならない状態になっていたのも、もし研修期間中で実家に戻っていなかったら...と考えるとぞっとします。

青木商店では建物や機械の破損はあったものの、大きな被害はなく、また休業日でも工場に人がいなくなったため、幸いにして被害も抑えられました。電気が復旧してからは、地区の方々や近所の方に豆腐を供給することや、炊き出しなどの活動に参加しました。そこで本当に喜んで頂けた事に、「人のために役に立った」という実感が湧き、私自身感動させられました。今後もこの気持ちを忘れずに、美味しいもの、喜んで頂けるものを作りたいと思います。

(株)青木商店 青木純 27才



もめん豆腐



青木 純さん

10/1(土) 高橋徳治商店の「火入れ式」がありました!!



高橋英雄社長(右から2人目)と社員の皆さん

10月1日、震災から204日ぶりにマルト本社工場の生産ラインに火が入りました。揚げ物ラインを流れていくのは、「お豆腐揚げ」。その場でいたっていた出来立ては、本当に美味しかったです。思いかえせば、4月にハドロとかれきで埋まった工場の中を見た時は呆然と立ち尽くしました。それを思えば、この日のきれいになった工場は本当に夢のようです。推定40トンのハドロを全て手で掻き出したのです。社長が万感を込めて「よくここまで」と挨拶された姿に大きくなおきました。しかし「ここまで」ではなく、「ここから」なのです。まだまだ続く復興への道程をマルトさんと共に歩んでいきたいと思えます。

専務理事 多々良 哲